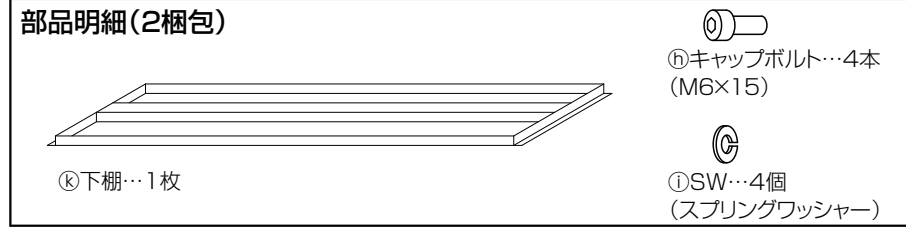


HWDLT-1800 オプション下棚取付方法

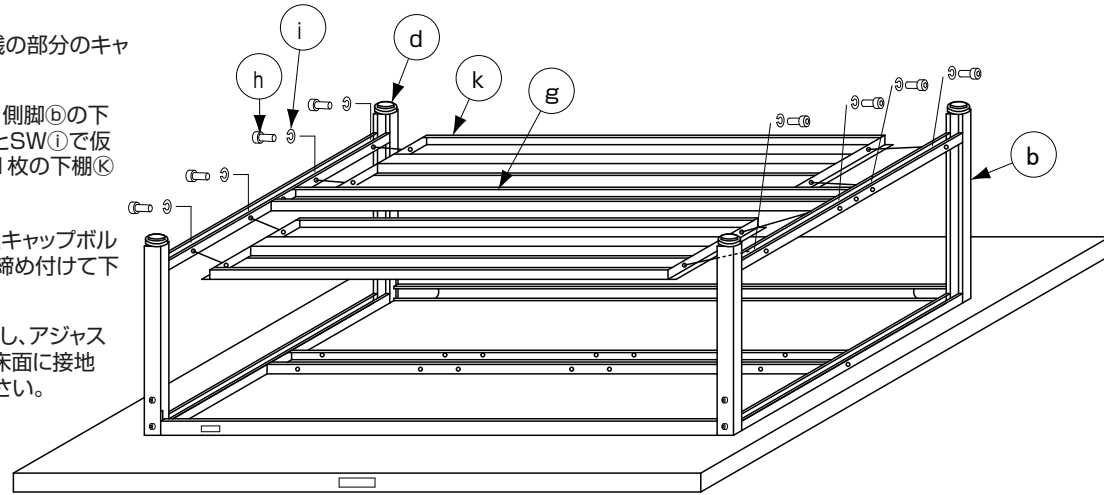
組み立てる前に、梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立ててください。

※作業台と一緒に下棚を購入された場合は、中面「HWDLT-1800 大型中量作業台 組立説明図」の5の工程で、下棚⑧を下横棧⑥と共に、下記2を参照して取り付けて下さい。



- 作業台を逆さにして、作業台本体の棧の部分のキャップボルト⑥を緩めて下さい。
- 下棚⑧を下横棧⑥の隣にはめ込み、側脚⑥の下棧の穴に合わせて、キャップボルト⑥とSW①で仮止めて下さい(左右各2カ所)。もう1枚の下棚⑧も同様に仮止めて下さい。
- 緩めたキャップボルト⑥と仮止めたキャップボルト⑥全てを、六角レンチ①でしっかり締め付けて下さい。
- 作業台を起こして任意の場所に設置し、アジャスター④で水平調節を行い、脚4本が床面に接地しているのを確認してからご使用下さい。

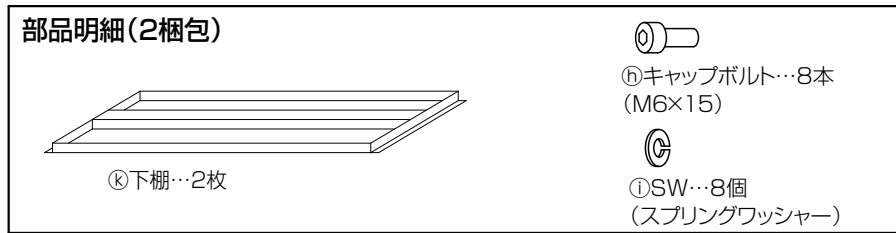


HWDLT-2400 オプション下棚取付方法

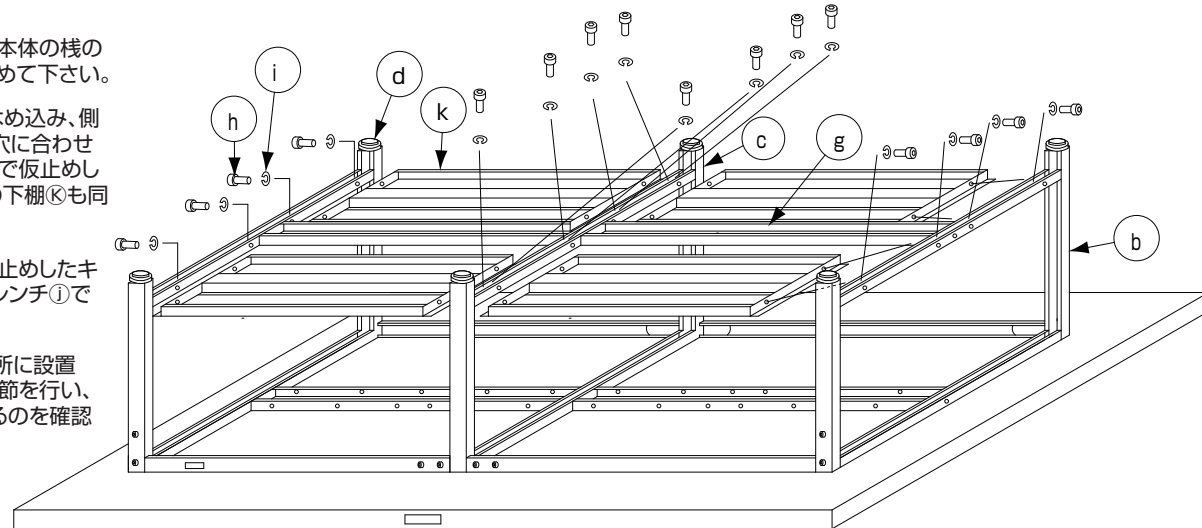
組み立てる前に、梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立ててください。

※作業台と一緒に下棚を購入された場合は、中面「HWDLT-2400 大型中量作業台 組立説明図」の5の工程で、下棚⑧を下横棧⑥と共に、下記2を参照して取り付けて下さい。



- 作業台を逆さにして、作業台本体の棧の部分のキャップボルト⑥を緩めて下さい。
- 下棚⑧を下横棧⑥の隣にはめ込み、側脚⑥及び中央脚⑥の下棧の穴に合わせて、キャップボルト⑥とSW①で仮止めて下さい(4カ所)。残り3枚の下棚⑧も同様に仮止めて下さい。
- 緩めたキャップボルト⑥と仮止めたキャップボルト⑥全てを、六角レンチ①でしっかり締め付けて下さい。
- 作業台を起こして任意の場所に設置し、アジャスター④で水平調節を行い、脚6本が床面に接地しているのを確認してからご使用下さい。



仕様

耐荷重 (均等静止荷重) **20kg**

下棚	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	色
HWDLT-1800	1476×420×35	グリーン

下棚	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	色
HWDLT-2400	1006×420×35	グリーン

製造元 **ユニオンスチール株式会社**
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
<http://www.unionsteel.co.jp>

日本製

大型中量作業台 HWD型

この度は、ユニオンスチール大型中量作業台HWD型をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は付属の工具(六角レンチ)1本で組み立てられるシンプルな構造ながら、大型サイズで均等静止荷重1500kgを実現。オプションの下棚を取り付けることにより作業台下の空間を有効活用いただけます。また、色合いは目に優しいグリーン色で、班単位による大型製品や長尺物の組立・梱包作業用さらに流れ作業用として工場・学校などで未永くご使用いただけます。

均等静止荷重 1500kg

※均等静止荷重とは、天板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量をいいます。
※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

安全上のご注意 必ずお守り下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- 表示荷重以上の荷重をかけないで下さい。
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。
- 側面や正面から大きな力をかけないで下さい。
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。
- キャスター付の使用時は、“キャスターの耐荷重”“作業台の耐荷重×1/2”のどちらか小さい方の荷重以下で使用して下さい。
- 不安定な場所に設置しないで下さい。
作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。
- キャスター付での移動時は、天板の上に物を置いたり、作業したりせず、運搬にも使用しないで下さい。
作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。
- 下棚(オプション)に足をかけたり、上に乗ったりしないで下さい。
下棚が破損・変形し、怪我をする恐れがあります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 屋外や水のかかる場所に設置せず、濡れた物を置かないで下さい。
作業台にサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。
- 表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。
- 天板面は必ず水平になるよう、アジャスターを調節してご使用下さい。
傾いていると作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。
- 作業台の切断、改造をしないで下さい。
作業台が不安定になり危険です。また、切断面のバリ等で怪我をする恐れがあります。
- 作業台の上横棧・下横棧・下棚の端面を素手で触らないで下さい。
鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。
- 組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組み立て手順に従って下さい。
手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、怪我をする恐れがあります。
- 脚部の隙間に指を入れないで下さい。
指が抜けなくなったり、怪我をする恐れがあります。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。
※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

HWD-1800 大型中量作業台 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。*万が一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細 ⑧天板…1枚 ⑥側脚…2本 (④アジャスター付)	⑨上横棧…2本 ①天補強…1本 ⑩下横棧…1本	⑨キャップボルト…23本 (M6×15) ①SW…23個 (スプリングワッシャー) ①六角レンチ…1本 (対辺5)
---	-------------------------------	--

組立順序

- 1 天板⑧の裏面(埋込ナット有)を上に向けて置いて下さい。
- 2 上横棧⑨を図のように置いて、穴を天板⑧の埋込ナットに合わせ、キャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(4カ所)。
- 3 側脚⑥の切り込みを上横棧⑨に付いている金具に差し込み、キャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(左右各4カ所)。側脚⑥の上棧の穴から天板⑧の埋込ナットにキャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(左右各2カ所)。
- 4 天補強①を2本の側脚⑥の上棧の中央部に入れ、穴を合わせてキャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(左右各1カ所)。天補強①の穴からキャップボルト⑨とSW①で天板⑧の埋込ナットに仮止めして下さい(3カ所)。
- 5 下横棧⑩を、2本の側脚⑥の下棧の中央部に入れ、穴を合わせてキャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(左右各1カ所)。*下棚⑫を取り付ける場合は、裏面「HWDLT-1800 オプション下棚取付方法」の2を参照して、下横棧⑩と下棚⑫(2枚)と一緒に取り付けて下さい。
- 6 全ての仮止めが終わると、天板部のキャップボルト⑨を六角レンチ①でしっかり締め付けて下さい。次に側脚⑥と上横棧⑨・天補強①の部分も同様にしっかり締め付けて下さい。そして下横棧⑩も(下棚⑫の場合は下棚⑫も)同様にしっかり締め付けて下さい。
- 7 作業台を起こして任意の場所に設置し、アジャスター④で水平調節を行い、脚4本が床面に接地しているのを確認してからご使用下さい。

仕様

30mmダップ化粧天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	色
HWD-1800	1800×1200×740	グリーン

均等静止荷重 1500kg

30mmダップ化粧天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	色	備考
HWD-1800LT	1800×1200×740	グリーン	下棚2枚付

HWD-2400 大型中量作業台 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。*万が一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細 ⑧天板…1枚 ⑥側脚…2本 (④アジャスター付)	⑨上横棧(左右有り)…4本 ①天補強…2本 ⑩下横棧…2本	⑨キャップボルト…38本 (M6×15) ①SW…38個 (スプリングワッシャー) ①六角レンチ…1本 (対辺5)
---	-------------------------------------	--

組立順序

- 1 天板⑧の裏面(埋込ナット有)を上に向けて置いて下さい。
- 2 中央脚⑥を天板⑧の中央に置いて、その金具に上横棧⑨4本を左右に気を付けて図のように差し込んで下さい。
- 3 側脚⑥の切り込みを上横棧⑨に付いている金具に差し込み、側脚⑥と上横棧⑨、そして2で差し込んだ中央脚⑥と上横棧⑨の接合部分の穴からキャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(16カ所)。
- 4 天補強①を、側脚⑥と中央脚⑥の上棧の中央部に入れ、穴を合わせてキャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(2カ所)。もう1本の天補強①も同様に仮止めして下さい。
- 5 下横棧⑩を、側脚⑥と中央脚⑥の下棧の中央部に入れ、穴を合わせてキャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(2カ所)。もう1本の下横棧⑩も同様に仮止めして下さい。*下棚⑫を取り付ける場合は、裏面「HWDLT-2400 オプション下棚取付方法」の2を参照して、下横棧⑩(2本)と下棚⑫(4枚)と一緒に取り付けて下さい。
- 6 本体部の仮止めが終わると、天板⑧の埋込ナットに側脚⑥、中央脚⑥、上横棧⑨、天補強①のそれぞれの穴を合わせて、キャップボルト⑨とSW①で仮止めして下さい(14カ所)。
- 7 全ての仮止めが終わると、天板部のキャップボルト⑨を六角レンチ①でしっかり締め付けて下さい。次に側脚⑥・中央脚⑥と上横棧⑨・天補強①の部分も同様にしっかり締め付けて下さい。そして下横棧⑩も(下棚⑫の場合は下棚⑫も)同様にしっかり締め付けて下さい。
- 8 作業台を起こして任意の場所に設置し、アジャスター④で水平調節を行い、脚6本が床面に接地しているのを確認してからご使用下さい。

仕様

30mmダップ化粧天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	色
HWD-2400	2400×1200×740	グリーン

均等静止荷重 1500kg

30mmダップ化粧天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	色	備考
HWD-2400LT	2400×1200×740	グリーン	下棚4枚付

作業台用引出し(HWD型に取付)

この度は、ユニオンスチール作業台用引出しをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は付属の吊金具を用いることにより、HWD型作業台へ簡単に取り付ける事が出来ます。また、ワイドな作業台に複数の引出しを取り付けることが出来る為、作業環境や作業工程に応じてご利用できるオプションとして未永くご使用いただけます。

適応機種 ●F-1●F-2●UDC-001●UDC-002●UDK-001W●UDK-002W

安全上のご注意 必ずお守り下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■傾いた状態で作業台に取り付けないで下さい。

傾いた状態で取り付けますと、引出しが勝手に開いたり閉まったりして、怪我をする恐れがあります。

■引出しに足をかけたり、本体の上に乗ったりしないで下さい。

引出しが破損・変形し、怪我をする恐れがあります。

■用途以外には使用しないで下さい。

用途以外に使用しますと、怪我の原因になります。

■側面や正面から大きな力をかけないで下さい。

引出しが破損・変形し、怪我をする恐れがあります。

■一度に複数の引出しを引き出さないで下さい。

重心が偏り、作業台ごと転倒して破損・変形し、怪我をする恐れがあります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置せず、濡れた物を置かないで下さい。

引出しにサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■一部に集中荷重をかけないで下さい。

■引出しの切断、改造をしないで下さい。

引出しが不安定になり危険です。また、切断面のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■化学薬品や薬物を扱う作業には使用しないで下さい。

腐食・変質などにより、引出しの品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

■組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組み立て手順に従って下さい。

手順を誤ると、組立中に部品が外れたり、作業台を起こした際に落下して、怪我をする恐れがあります。

■引出しの底面・内側を素手で触らないで下さい。

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

■引出しの角に足などをぶつけないようにお気を付けてください。

怪我をしたり、引出しが破損・変形したりする恐れがあります。

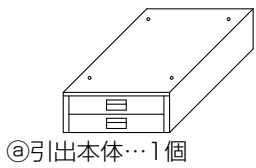
HWD型に引出しの取付方法

適応機種 ●F-1 ●F-2 ●UDC-001 ●UDC-002 ●UDK-001W ●UDK-002W

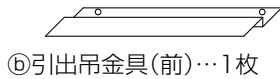
組み立てる前に、梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立ててください。

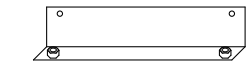
部品明細



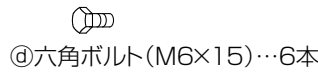
㊸引出本体…1個



㊹引出吊金具(前)…1枚



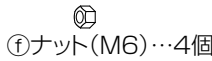
㊺引出吊金具(後)…1枚



㊻六角ボルト(M6×15)…6本



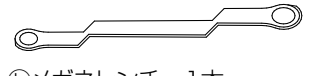
㊼SW…6個
(スプリングワッシャー)



㊽ナット(M6)…4個

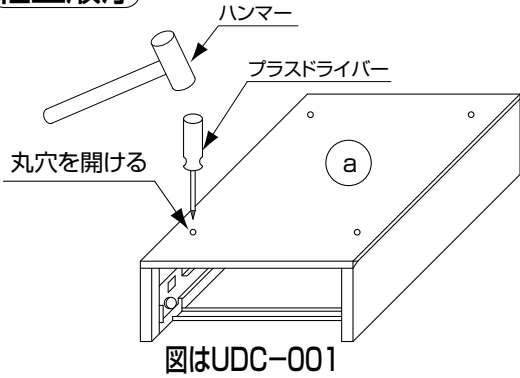


㊾PW(丸ワッシャー)…4個



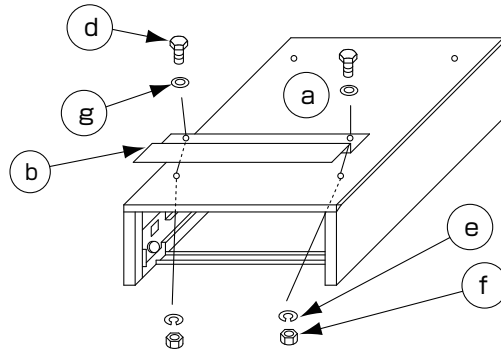
㊿メガネレンチ…1本
(10×13)

組立順序

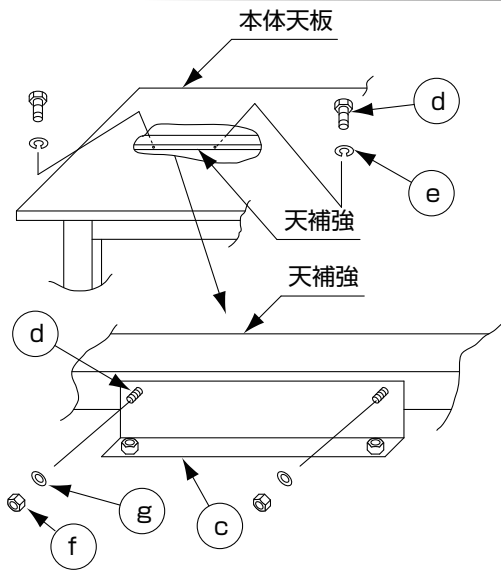


図はUDC-001

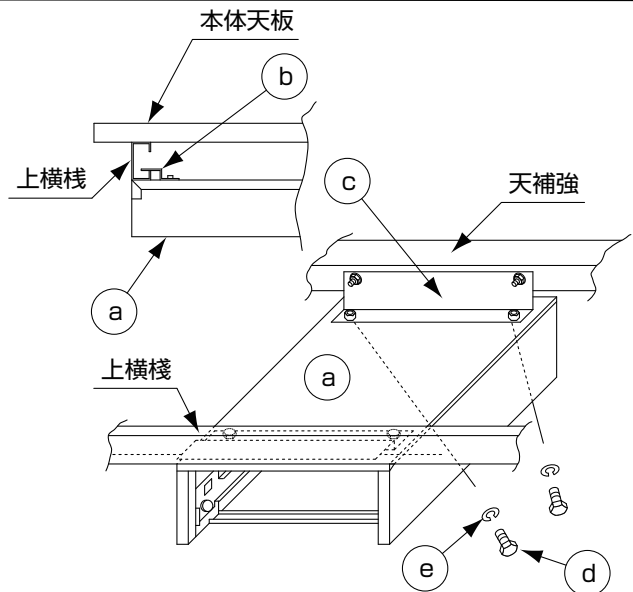
- 1 本体の組立が終わると、引出本体㊸から引出を抜き、引出本体㊸の上面の半抜き穴にプラスドライバーを当てて、ハンマー等で叩いて丸穴を開けて下さい(4カ所)。
※最初から丸穴が開いている場合は、この作業は必要ありません。



- 2 引出吊金具(前)㊹を図のように引出本体㊸の前の丸穴に合わせ、上からPW㊾と六角ボルト㊻を差し込み、中からSW㊼とナット㊽で仮止めて下さい(2カ所)。



- 3 引出吊金具(後)㊺を本体の天補強の任意の位置の丸穴に合わせ、天補強の中からSW㊼と六角ボルト㊻を差し込み、PW㊾とナット㊽でしっかり締め付けて下さい(2カ所)。



- 4 2で取り付けした引出吊金具(前)㊹を本体の上横棧に引っ掛け、引出本体㊸の後の丸穴と、引出吊金具(後)㊺のナット位置に合わせて、中からSW㊼と六角ボルト㊻で仮止めて下さい(4カ所)。

- 5 2,4で仮止めた六角ボルト㊻をしっかりと締め付けて下さい(4カ所)。

- 6 1で抜いた引出を引出本体㊸に入れて下さい。

製造元 **ユニオンスチール株式会社**
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
<http://www.unionsteel.co.jp>

日本製